

小樽商科大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等: 銀行業
- 実習場所: 札幌市
- 参加対象者: 商学部3、4年生
- 実習期間: 8月
- 実習日数: 5日

<取組の概要>

銀行業において、新入社員に対して行う「新入行員教育プログラム」を体験することにより、「職業意識の開発」「銀行業の役割と業務の理解」「基礎的なビジネスマナー修得」などをおこなう。



(グループワークの風景(イメージ))



(札勘イメージ)

<取組の具体的な内容>

5日間のインターンシップであり、「新入行員教育プログラム」は次の内容で実施。

- 1日目 「オリエンテーション」「銀行の役割と業務」「CSについて」
「札勘実習」
- 2日目 「営業部見学(事前・事後学習含む)」「グループ討議」
「討議発表」
- 3日目 「営業店見学・業務体験」「業務体験等の振り返りシート作成」
「シート発表」
- 4日目 「社会人としてのマナー」「新入行員との座談会」
- 5日目 「テーマに沿ったディスカッション」「グループワーク」
「札勘テスト」「感想文」

小樽商科大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名:地域連携キャリア開発(4単位)
- 実習先企業等:東洋水産株式会社
- 実習場所:北海道後志地方及び小樽市内
- 参加対象者:商学部2年生
- 実習期間:4月～1月
- 実習日数:200日程度

<取組の概要>

地域課題の発見・解決、地域の活性化を目指しての授業科目であり、講義形態も長期プロジェクト実践型アクティブラーニングとなっている。また、地域の企業等との連携を義務付けられており、取組課題も地域社会(産業界)のニーズを踏まえたものとなっている。(地域連携インターンシップ)



【ご当地グルメアレンジレシピの店頭紹介】



【ご当地グルメアレンジレシピ開発風景】

<取組の具体的な内容>

- 4月～5月 課題設定、グループ設定、課題に対するアプローチ検討
- 6月～10月 地域企業との打合せ、課題の再検討、調査等実施
- 10月中旬 中間成果報告会実施(地域企業、地域市民等対象)
- 11月 中間成果報告会での意見等を課題解決のプロセスに組み込み、更なる調査等を実施
- 12月中旬 最終成果報告会実施(地域企業、地域市民、学生等対象)

【事例:ご当地グルメアレンジレシピの開発】

東洋水産株式会社と連携して「あんかけ焼きそば」のアレンジレシピを考案し、オリジナルPOP・チラシを制作するとともに大手食品スーパーや報道機関を通じて広報活動を行い、小樽市内におけるご当地グルメの普及に取り組んだ。

小樽商科大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名:総合科目 I b「地域活性化システム論」(2単位)
- 実習先企業等:新日鉄住友金属室蘭工場、室蘭市内
- 実習場所:北海道室蘭市、小樽市
- 参加対象者:小樽商科大学商学部1年生
室蘭工業大学工学部1年生
- 実習期間:9月 ●実習日数:3日

<取組の概要>

小樽商科大学と室蘭工業大学との連携事業であり、「多角的視野から地域社会や地域活性化の基本的あり方を理解する」「地方都市の具体的な地域活性化への取組を理化する」等を目的に、地域企業等の課題テーマ「ムロランを再生せよ」に取り組んだ。(地域連携PBL)



【第2日】グループワークの様子



【第3日】プレゼンテーションの様子(双方向)

<取組の具体的な内容>

実習日:平成26年9月8日~10日

【第1日】室蘭会場

○調査計画書の作成、○企業工場訪問、○室蘭市内まち歩き等、○調査結果整理

【第2日】小樽会場及び室蘭会場

○双方向講義による講演(室蘭市長、NPO法人室蘭再生工場等)

○第1日の訪問調査結果等を踏まえグループワーク実施

○課題等の解決策(プロジェクト等)のプレゼンテーション資料作成

【第3日】小樽会場及び室蘭会場

○双方向によるプレゼンテーションを実施

○総評(企業関係者、大学教員)

旭川大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: インターンシップ(単位認定なし)
- 実習先企業等: 旭川市役所
- 実習場所: 北海道旭川市
- 参加対象者: 経済学部2年生、3年生
- 実習期間: 8月~9月
- 実習日数: 1日

<取組の概要>

公務の職業理解のため旭川市役所においてプログラムを相談し、学生は実施前に課題を与えられ実習を行った。実習先・学生の報告書提出を受けた。終了後に学内で報告会を実施した。



学生が関わった広報誌、チラシ

<取組の具体的な内容>

広報広聴課で3つのプログラムを体験した。市民に情報を伝える難しさ
と工夫を知ると共に、学生も意見をお伝えして採用いただいた。

- ① 広報誌の校正を行い、次号の企画会議にも参加。実際に学生の意見が取り入れられ次号の特集記事になった。
- ② 市役所主催のイベントに出店する企業を取材し、後日、学生がPRチラシを作成。実際にイベント当日に活用していただいた。
- ③ 地元の魅力を紹介するTV番組取材に同行し、様子をフェイスブックに掲載。番組のPRと共に地区の魅力をPRした。

札幌市立大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名:学外実習A(2単位)
- 実習先企業等:札幌ファニッシング株式会社
- 実習場所:札幌市内
- 参加対象者:デザイン学部3年生
- 実習期間:8月～9月
- 実習日数:9日間

<取組の概要>

・大型インテリアショールームにおいて、インテリアコーディネーターの仕事体験し、多様化する消費者ニーズに対して家具・インテリア卸問屋の枠を超えた商品開発及び提案業務の実務を学ぶ。

【インターンシップの実施プログラム紹介】

- 1.オリエンテーション
- 2.DM発送
- 3.ショールームでの接客
- 4.図面作成、商品選び、サンプル手配、見積書作成
- 5.提案プランボードの作成
- 6.社内プレゼンテーション

<インターンシップ取組の具体的な内容>

- ①ショールームのイベント告知のためのDM発送を行った。
- ②イベントの受付、案内、接客(商品説明等)を経験した。
- ③CAD、イラストレーター、フォトショップ等のソフトを駆使して資料作成を行った。
- ④与えられた課題に関して、予算等の顧客ニーズに基づいて見積書作成、サンプル発注、提案プランを練り、プレゼンボードにまとめた。
- ⑤社内プレゼンテーションを行い、社員から評価を受けた。

社内プレゼンテーション風景



<自己評価>

・商品選びから見積作成、接客や商談の現場など実践的な業務体験を通して、「大学での学び」と「実社会」の関係性を見つけることができた。

<企業側の評価>

・意欲的に課題に取り組む姿勢や指示に対しての理解が早く、決められた時間内に完成させた能力及び他大学生や社員と積極的な情報交換を行う等、コミュニケーション能力が高いとの評価を受けている。

千歳科学技術大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等：富士アイティ株式会社
- 実習場所：東京都立川市
- 参加対象者：総合光科学部3年生
- 実習期間：8月
- 実習日数：10日間

<取組の概要>

他学校のインターンシップ生とともに、実際に納入するシステムについて、システム設計・製作・試験を行う。なお、インターンシップ参加者全員について、事前講義(マナー講座、課題設定)、および成果発表を義務付けている。



インターンシップ参加学生の様子

<取組の具体的な内容(実習先)>

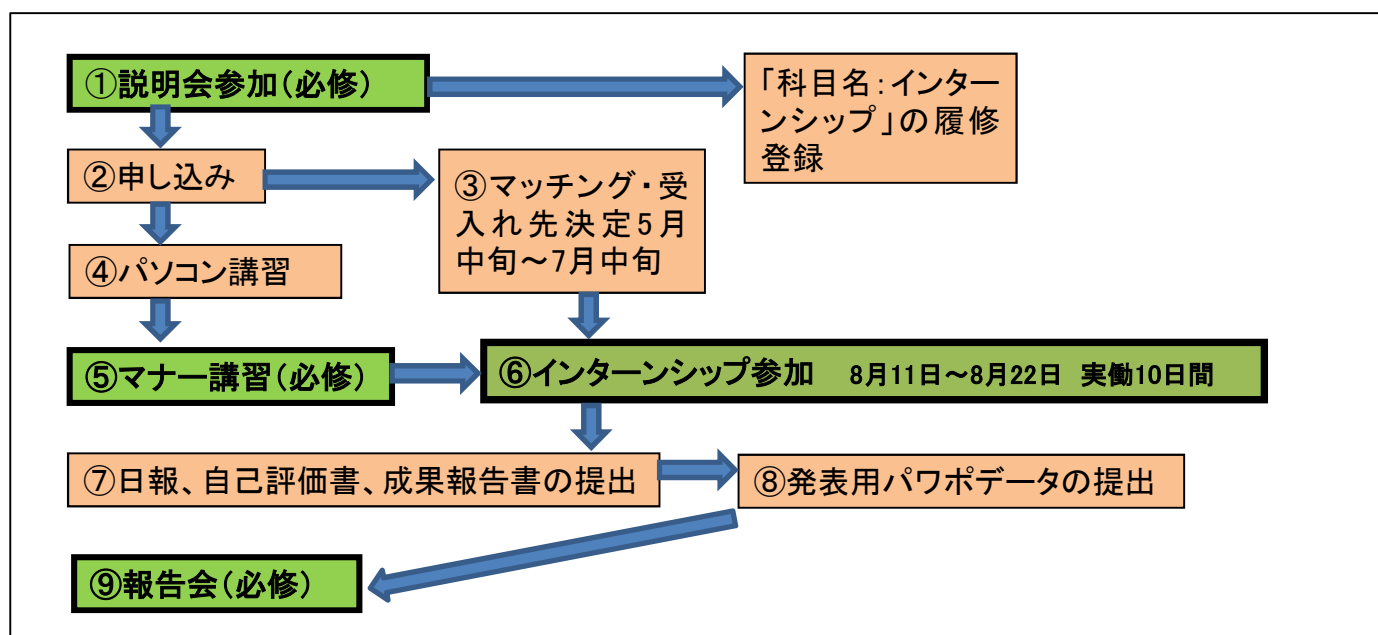
- 1日目：オリエンテーション、講義(ビジネスマナー、会社説明 等)
- 2日目：講義(プロジェクトマネジメント、シーケンス制御の基礎 等)
- 3～8日目：実習(他学校のインターンシップ生とともに「シーケンス制御」について実習を行う。実習の内容は、自分たちが設計作成したシーケンスプログラムでデモ信号機やエレベーターを動かす、評価を行う、というもの。)
- 9～10日目：実習のまとめ、発表

北翔大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等：サービス業(ブライダル貸衣装)
- 実習場所：北海道札幌市
- 参加対象者：全学部2、3年生
- 実習期間：8月
- 実習日数：10日

<取組の概要>

企業等での研修を通じて就業力を育成することを目的としている。各自の目的に応じて活用することが可能であり、将来の進路選択に役立つ知識の吸収、また、社会人としての基礎力を培う。



<取組の具体的な内容>

実習先はウェディングドレス等のブライダル衣装レンタルを主業とする企業である。インターンシップのマッチング開始時に、学生からブライダル事業者でのインターンシップ希望があり、学内教員の紹介を受けて受入れ先を確保した。

実習が始まる前の期間にマナー講座を必修授業として設けており、学生は3時間の集中講義を受けて実習に備えた。インターン実習は8月11日(月)～8月22日(金)にかけて2週間の期間、実働10日間で行われた。

実習先ではその事業の特性から、来客対応には専門的な知識や接客技術が必要であるため、学生は主としては店内清掃や伝票整理などの後方支援業務を体験した。また、実習先は店舗の移転が予定されていたことで、引越し準備作業の補助にも当たった。当業界の特徴的な業務では、試着室の片付けや試着時の補助、着物類の整理などが体験できた。このように実習先では店舗運営の接客サービス業務と、来客には見せないバックヤードでの作業という表裏の両方の側面を体験することが出来た。